

農村振興総合整備事業 諸磯小網代地区 実施状況について

【横須賀三浦支部】

1. はじめに

神奈川県では、平成27年度（2015年度）から国の補助を受け、三浦市諸磯小網代土地改良区内全域を受益地とした農村振興総合整備事業諸磯小網代地区を実施しています。

今回は、この県営事業地区の実施状況をご紹介します。

2. 地区の概要

本地区の受益面積は27.5haで、畑地かんがい施設（管路4,118m他）、農道5,036mを整備します。

3. 事業評価（公共事業再評価）

神奈川県では、平成10年度から、公共事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業開始後、5年経過後に継続中の事業を対象に、事業継続の適否について、評価を行っています。

評価の視点は、

- ・事業の進捗状況
- ・関連公共施設等の整備状況
- ・事業を巡る社会経済状況
- ・事業採択時の費用対効果分析の要因の変化
- ・関係市町村等の意向
- ・事業コスト縮減の可能性
- ・代替案の可能性

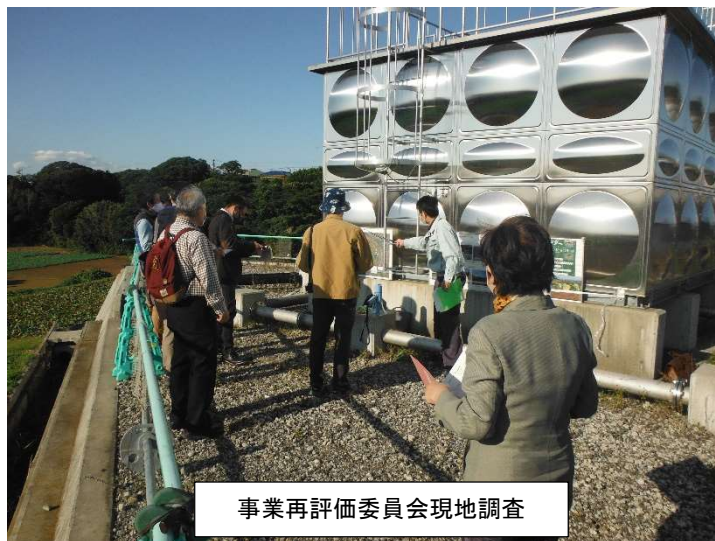
となっています。

学識経験者等で構成する委員

会で内容を審査していただき、委員会の意見を尊重して対応方針を決定し、評価結果及び対応方針等を公表しています。

委員の構成は、環境、地域社会形成、社会情勢、農業・農村、水産・漁業、森林・林業の学識経験者等の6名となっています。

本地区の工期は、当初2015年度から2021年度までとなっていたのですが、2020年度末時点の事業費ベースの進捗率は46%となっており、当初予定工期での完了は困難な状況となっています。



事業再評価委員会現地調査

事業進捗が遅れた要因は、当初計画どおり補助金の割り当てがされなかったことや、工事入札の不調の影響などによります。(平成30年度は入札不調のため工事施工できませんでした。)

このため、事業継続と事業工期の延長については是非を委員会に審議いただきました。委員から、事業進捗が思わしくない点については、厳しい意見もいただきましたが、事業効果については認めていただき、事業継続が認められました。

委員からの質問は、予想外のものあり、普段の業務で当たり前だと思っていたことにも疑問が投げかけられ、さまざまな意見があることを感じました。

また、誤解されている事項もあり、事業効果の説明発信、広報の必要性を感じました。

4 事業の実施状況

(1) かんがい施設の概要

本地区のかんがい施設は、2か所の井戸を水源とし、配水機場で容量40 m³の水槽に一時貯留し、パイプラインで各箇所へ送水する構造となっています。

配水機場からパイプラインで16か所の給水栓に水を送り、受益者は、各自で水槽を積んだトラックで給水栓に水を取りに行く方式を採っています。(このかんがい方式を“三浦方式”ということもあります。)



給水栓 (2019 年度施工)



かんがい作業風景

(2) 受益者の意見を取り入れて変更

(水源の制御ケーブル設置方法)

配水槽の水位により、井戸の水中ポンプを作動・停止させるため、制御ケーブルを水源と配水機場の間に敷設する必要がありますが、当初の設計では、制御ケーブルは管路と並走させて地中に敷設する計画でした。



配水機場 (2016-17 年度施工)

しかし、工事発注前の最終確認での土地改良区の要望は、制御ケーブルと管路は並走させないで欲しいというものでした。その理由として、将来、管路の漏水補修などの掘削時に、制御ケーブルも損傷させてしまう可能性があるなど、管路と並走させて地下埋設するのは管理しにくいというものでした。

このため、制御ケーブルは、管路とは別ルートで架空線とする変更を行いました。

なお、制御ケーブルの一部は、東京電力の電柱に添架させてもらいました。

(3)進捗状況

今年度工事で水源から配水機場への送水管がすべて施工済みとなり、給水栓は2か所設置し、合計4か所の給水栓が完成しました。

全体では16か所の給水栓を設置する計画です。

農道の整備は、令和元年度の工事で、縦断勾配10%前後の比較的急勾配の箇所を中心に舗装を約400m施工しましたが、事業量ベースで8%の進捗と厳しい状況です。

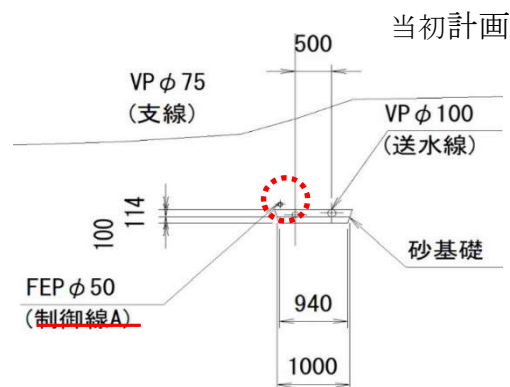
(4)今後へ向けて

パイプライン工事や舗装工事は、不人気で、応札者も少なく入札不調になりやすい状況で、事業進捗を阻む大きな要因の1つとなっています。

このような状況ですが、今年度のパイプライン工事は、地元の諸磯の業者が受注し、今後も工事受注に前向きな姿勢が見られ、少し明るい兆しが見えています。

また、県では、工期短縮とコスト削減のため、現在、かんがい施設の路線計画変更の検討などを始めています。

今後とも、土地改良区をはじめ関係者のご協力をいただきながら、一刻も早い事業完了へ向け進めていきたいと思っています。



井戸 (2016年度施工)
給水栓 (2020年度施工)